

第4次男女共同参画プランまるがめ

令和5年度事業実績

担当課長による事業の評価とその理由

丸亀市総務部人権課男女共同参画室

目 次

担当課長による事業の評価とその理由

秘書課（秘書政策課）	1
秘書課広報戦略室（広聴広報課）	2
職員課	3
危機管理課	4
庶務課	5
人権課	6
男女共同参画室	7
地域づくり課（生涯学習課、生活環境課）	8
まなび文化課（生涯学習課）	9
図書館	10
スポーツ推進課	11
福祉課	12
子育て支援課	13
高齢者支援課	14
健康課	15
都市計画課	16
建設課	17
建築住宅課（住宅課）	18
産業観光課	19
農林水産課	20
消防総務課	21
教育総務課	22
学校教育課	23
幼保運営課	24
議会事務局	25
選挙管理委員会	26

(令和5年度事業の評価)

担当課	秘書課(秘書政策課)
-----	------------

【秘書課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	7	【4】	113	C	外国人相談業務を積極的に行うとともに、相談者に寄り添い、きめ細やかな対応を行った。日本語教室を実施し、外国人住民の日本語学習機会を確保するとともに、必要とする支援を受けられる環境づくりに努めた。また、多文化共生防災講座を前年度に続き開催し、安心して暮らせる環境の整備に努めた。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	秘書課広報戦略室(広聴広報課)
-----	-----------------

【秘書課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	1	【1】	5	C	情報発信時には男女偏らない表現となるような配慮をしているが、昨年同様の取り組みである。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	職員課
-----	-----

【職員課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【2】	32	B	いずれの施策も、短期的な成果の検証にはなじまず、それぞれの目標に向けて中長期的に地道に継続していくことが必要であり、取組を維持している点を踏まえてB評価とした。
◎、○	4	【3】	45	B	
◎、○	5	【2】	79	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	危機管理課
-----	-------

【危機管理課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【4】	36	C	・女性の防災士資格取得については、各地区の自主防災組織に働きかけを行ったが、女性取得者の割合は低い状況であった。
◎	3	【4】	39	B	・全ての避難者に配慮した避難所運営や被災者支援について、自主防災会総会で説明するとともに、自主防災会合同訓練や一部地区での訓練において、避難行動要支援者に対応した訓練を行うことができた。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	庶務課
-----	-----

【庶務課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【2】	42	B	本市発注工事において、週休2日制度を整備することにより、ワークライフバランスの改善に努めた。

◎: 事業計画あり

○: 数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	人権課
-----	-----

【人権課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	1	【2】	8	B	・人権に関する新しく制定された法令や既存の法令を示し、目的や主旨の再確認を行うことで、法令遵守や人権意識の向上を図った。 ・当事者による研修会や講演会を開催することで、当事者の立場に立って考え、相互理解に向けての意識が高まった。
◎	7	【5】	114	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	男女共同参画室
-----	---------

【人権課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	1	【1】	1	C	政策・方針決定への女性の参画拡大が求められる中、令和5年度は新たに、職場や地域などあらゆる場面での女性の主体的な活躍を推進するため、「丸亀市女性リーダー育成講座」を開催し、女性自身の意識や行動の変革を促した。 また、働く場におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進に向け、瀬戸内中讃定住自立圏女性活躍推進協議会事業として、企業向け講演会のほか、先進企業の取組事例等を紹介したリーフレットを作成し、圏域内の企業等に配布することで、誰もが働きやすい職場づくりを促した。 男女共同参画の意識づくりについては、引き続き、パネル展やキャンペーンなど、市民への働きかけを継続して行うことで、無意識の思い込みや固定的な性別役割分担意識の解消へとつながるよう、庁内各課や関係団体等と連携するなど、より効果的な普及啓発に努めていく。
◎、○	1	【1】	4	B	
○	1	【1】	6		
	1	【2】	7		
	1	【2】	9		
○	2	【3】	15	B	
◎、○	2	【3】	18	C	
○	3	【1】	27	B	
○	3	【2】	31	C	
◎、○	3	【2】	33	C	
○	3	【3】	34	B	
○	3	【4】	37	C	
○	4	【1】	40	B	
○	4	【2】	43		
○	4	【3】	46	C	
	4	【10】	63		
	4	【10】	68		
	4	【10】	70		
○	5	【1】	74	C	
	5	【1】	77		
○	5	【2】	80		
	5	【3】	82		
○	6	【1】	86	B	
	6	【1】	90		
○	6	【2】	91	C	
	6	【3】	92		
	6	【3】	93		
	6	【6】	97		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	地域づくり課(生涯学習課、生活環境課)
-----	---------------------

【地域づくり課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【10】	69	B	69.コミュニティの所長等に少しずつ女性の登用が見られるほか、地域活動の参加においても、性別、年代などを問わず、誰もが参加できるよう、コミュニティ協議会等を活用し、継続して周知・啓発に努めた。
◎、○	4	【10】	71	B	71.継続した地域活動が行えるよう、市民活動者のニーズを把握しながら、交流会や相談対応を行った。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	まなび文化課(生涯学習課)
-----	---------------

【まなび文化課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	2	【3】	16	C	16.地域コーディネーター養成講座については、昨年度までに一定数が受講しており、新規受講者の獲得に至らなかったが、既受講者による具体的な実践には変更がなかった。 19.市民学級で「子育て世代のお金と健康」をテーマとしたオンライン講座を開催し、新規受講者が90%を超えた。
◎	2	【3】	19	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	図書館
-----	-----

【図書館長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	1	【1】	2	C	令和5年度は例年の取組みに加えて男女共同参画に関する「おはなし会」を図書館で実施した。図書館ホームページや図書館だよりでの周知だったため、次年度からはさらに人権課と連携し周知に努めていきたい。
	2	【3】	17		
◎	4	【10】	66	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	スポーツ推進課
-----	---------

【スポーツ推進課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	1	【1】	3	B	研修会実施において男女共同参画プランに沿って、参加者のひとりひとりの意識改革を行うことで理解を深めることができた。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	福祉課
-----	-----

【福祉課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	2	【6】	24	C	・24の生理の貧困対策については、災害備蓄の入替え時に配布し備蓄資源を有効活用した。今後も女性が自己管理により健康を維持できるための事業として、危機管理課、社会福祉協議会及び民間団体等との協議・調整を継続的に行っていく。 ・52の子育て環境の整備・充実については、増加する障がい児やその家族の相談件数に適切に対応するためのコーディネーターの増員を図ることができており、これに伴って支援計画作成の充実化にもつながっている。 ・100のひとり親家庭への支援の充実については、継続した事業を実施したことにより、学力の向上が見られるなどの一定の成果が見られた。また、活動内容の工夫により、子どもの居場所としての役割を果たすことができた。
◎、○	4	【6】	52	C	
◎	7	【1】	100	C	
	7	【2】	104		
	7	【3】	109		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	子育て支援課
-----	--------

【子育て支援課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	4	【6】	50	B	50②病児保育について、 現在は、安定した支援ができています。 2か所目の検討については、次期こども未来計画のアンケート結果をもとに、地域性や施設数など、ニーズにあった適切な設置について考えていきたい。
	4	【6】	53		
	4	【6】	56		
◎、○	4	【6】	57	B	
◎	6	【1】	87	B	
◎	6	【4】	94	B	
	6	【4】	95		
	6	【5】	96		
	6	【6】	98		
	6	【6】	99		
	7	【1】	101		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	高齢者支援課
-----	--------

【高齢者支援課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	4	【7】	60	C	介護職域の人材確保に関わる介護報酬については、介護保険制度の中で決められることで、市の独自性を発揮することは難しいと考えている。 一方、ランチを活用した総合相談事業および市独自の高齢者福祉施策(介護認定を受けていない方を基本対象としている)による介護予防事業の取り組みは、健康寿命を延ばす効果があり、介護年齢引き上げにより家族の負担軽減が図られていると考える。
◎	4	【9】	62	C	
	4	【10】	65		
◎	7	【2】	105	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	健康課
-----	-----

【健康課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	2	【5】	22	B	地区担当制を採用している保健師活動を地道に継続しており、人の輪が途切れることなくコミュニティとともに活動できていると考える。コロナ禍の影響により地縁が薄くなっているところを地域の方と意見交換しながら取り組めており、参加者数の維持だけでなく新規参加者の獲得も少数ながら得られていると評価する。 地域住民の意見を聞きながら男女共同参画の意識醸成に寄与していきたい。
○	2	【5】	23	C	
	2	【6】	25		
	2	【6】	26		
◎	4	【4】	47	B	
◎、○	4	【10】	64	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	都市計画課
-----	-------

【都市計画課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【5】	49	C	引き続き、届出制度を適正に運用した。 新規の公園の開園など、計画的な整備を進めることができた。
◎	4	【10】	72	B	
	7	【2】	106		
	7	【3】	110		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	建設課
-----	-----

【建設課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	7	【2】	108	B	幹線道路の整備、及び生活道路の舗装修繕とも、予定どおりの事業進捗となり、施策の推進が図られた。
◎	7	【3】	112	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	建築住宅課(住宅課)
-----	------------

【建築住宅課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【10】	73	B	総合運動公園多目的広場トイレ、スケートボードパーク公衆トイレにベビーチェアー、ベビーベット等を備えた男性トイレや多目的トイレを整備し、男性が子育てに参画しやすくなるための環境整備を推進した。
	7	【1】	102		
	7	【2】	107		
	7	【3】	111		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	産業観光課
-----	-------

【産業観光課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	3	【3】	35	C	意思決定の場への女性参画推進については、目標値には届かなかったものの年間233件の企業訪問を行い、女性活躍推進やワークライフバランス等についてのニーズや状況把握に努めた。 働き方改革の推進については、キッズウィーク推進協議会を中心に「丸亀こどもデー」を実施し、キッズウィーク期間中は関係各課・各種団体・市内事業者により、関連イベント等を開催するなど、「子どもの学校・園の休業日」と「大人の有給休暇取得」による休みをマッチングし、家族が一緒に休日を過ごす機会を創出した。 また、創業支援については、令和5年度に新設した「創業支援事業補助金」を交付した女性の割合が約85%、創業相談の女性の割合が約45%であり、女性の創業支援につながった。
◎、○	4	【1】	41	C	
○	4	【2】	44	C	
○	4	【4】	48	C	
◎	5	【1】	75	B	
◎	5	【1】	76	B	
	5	【1】	78		
	5	【2】	81		
	5	【3】	83		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	農林水産課
-----	-------

【農林水産課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	5	【3】	84	C	構成員に大きな変化がなかったため

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	消防総務課
-----	-------

【消防総務課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【4】	38	C	自粛していた活動も再開して普及啓発活動を行い、2名の新入団があったが、2名の退団があったため、団員数の増加には繋がらなかった。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	教育総務課
-----	-------

【教育総務課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【6】	58	B	・めざす姿の実現のため、働く親が安心して子どもを預けることができる施設の整備を行った。
◎	7	【1】	103	B	・困難を抱える人が必要な支援を確実に受けられるよう庁内の連絡体制の整備を行った。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	学校教育課
-----	-------

【学校教育課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
	2	【1】	10		令和4年度までの「性犯罪・性暴力の集中強化期間」の通知に基づく取組を、令和5年度においても継続して行った。また、令和5年7月27日付の「こども・若者の性被害防止のための緊急対策パッケージ」の文科省通知に基づく各校への指導を行った。 「生命(いのち)の安全教育」については、全ての小中学校において実践が行われており、文科省の教材を使った実践も報告されている。 教職員の男女共同参画やジェンダーに関する教育の重要性の認識が高まっている。 あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けて、相談窓口の周知や声をあげやすく見逃さない対応が徹底できるよう継続して取り組まなければならないと考えている。
◎	2	【1】	12	C	
	2	【2】	14		
◎	2	【4】	20	B	
	3	【1】	28		
	4	【6】	54		
◎	6	【1】	88	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	幼保運営課
-----	-------

【幼保運営課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
	2	【1】	11		「男女の性とともに理解・尊重する意識の浸透」については、子どもに対して日々の保育・教育を通して生命の大切さを伝えることができた。「保育士の確保」については、広報活動の強化により修学や就職に対して支援し、男女の均衡あるワークライフバランスの推進に寄与した。そして、「あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施」については、保護者に対しては主に配布物、職員に対しては園内研修を通して暴力根絶に対する意識の浸透を図れた。
	2	【1】	13		
◎	2	【4】	21	C	
○	4	【6】	51	C	
	4	【6】	55		
	4	【6】	59		
◎、○	4	【8】	61	B	
	4	【10】	67		
◎	6	【1】	89	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	議会事務局
-----	-------

【議会事務局次長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	3	【1】	29	B	多くの市民に参加いただけるよう議会報告会及び意見交換会の開始時間や会場の設定を工夫するとともに、学生との意見交換会では自由に発言しやすい環境の醸成に努めた。令和5年度は、半数近い52名の女性が議会を傍聴された。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和5年度事業の評価)

担当課	選挙管理委員会
-----	---------

【選挙管理委員会事務局長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【1】	30	C	目標にやや届かなかったが、施策は実施している。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。